

# 後援会副会長挨拶

## 挨拶が基本

保護者並びに大学関係者の皆様には、日頃より後援会活動へのご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東京都市大学創立90周年の節目を迎える年に世田谷キャンパスでは、台風第19号の甚大な被害により創立90周年記念を祝う式典や本学の公式行事の一つ世田谷祭も残念なことに中止となりました。

また、授業等をはじめとした学事にも多大な影響を及ぼしましたが、教職員並びに学生ボランティアの皆さんの献身的な復旧活動のお陰で、いち早く復旧することができました。ここに誌面をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、私の娘（次女）も本学に指定校推薦で人間科学部児童学科に入学してから、あっという間の4年間でした。まもなく充実した学生生活を終えようとしています。教育課程では、保育園（3年次）・幼稚園（3、4年次）・施設の実習（3年次）を体験するとともに、課外活動では体育会系の剣道部に所属し、高校時代と同様に大学でも良き指導者や仲間にも恵まれたお陰で、1年次には剣道を通じてハーバード大学との国際交流を体験させてもらいました。

私の娘もそうですが、まもなく卒業シーズンを迎えます。就職される学生の皆さんは新たな旅立ちに向け大きな夢と希望を持って社会人としての第一歩をスタートしようと心待ちにされていると思います。

そのスタートラインに立とうとされる学生の皆さんに社会人としての心構えを一つアドバイスさせていただくならば、剣道をはじめとする武道の精神やあり方において、相手への敬意を示すという意味で、よく使われる言葉に「礼に始まり礼に終わる」という表現の仕方があります。それと同様の意味合いで、社会人のマナーとして「挨拶が基本」だということを常に持ち続けてもらいたいと思います。例えば、私が講師として社内研修の場で「先手を打って挨拶するのは好意の表明」、「挨拶をしないのは敵意の表明」ということを受講者によく話をします。これは、挨拶をしないのは相手を見捨てているというような、つまらない誤解を招くことにも繋がりますので、このことを肝に銘じて行動していただければと思います。

最後に東京都市大学後援会は、大学の学生生活の「頼りになる存在」であり続けたい!! をモットーに、大学の教育方針に則り大学と保護者が連携を緊密にして、学生生活の更なる向上に寄与してまいりますので、どうぞ保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援をいただきますよう宜しくお願い致します。



東京都市大学 後援会 副会長 **奥井 威至**